

平成27年11月4日

第2回 八尾翠翔高等学校 学校協議会（報告）

協議委員（5名）の参加をいただき、本校教職員（3名）が同席し協議を行った。主な質疑等については、以下の通りである。

①第1回授業アンケートについて

7月に実施した授業アンケートの結果について、教頭より説明した。昨年度のデータと比べても、概ね全項目でのスコアが上昇しており、良好な結果であると考えている。これに対して、各委員から以下のようなご意見をいただいた。

【意見・提言】

- ・学年が高くなるに従って、良好な結果が増えていくことは喜ぶべきことだ。それだけ生徒の意識が高まっていることを表している。
- ・スコアが振るわない教員については、どのような授業を担当させるか、働きどころを配慮することでやる気を引き出すことを考えてはどうか。
- ・生徒たち自身、教科による得意、不得意もある。ただ、興味を持たせる工夫をしている教員の評価は高い。
- ・授業は「分かる」ことが大切だ。最近の生徒は、授業のポイントが分からない者が多い。答えのみを書くに留まっていたり、ノートをうまくまとめる力が弱いように思う。
- ・アンケートの中の自由記述欄の記載も参考になる。不満の中に手がかりが隠されているものだ。
- ・このアンケート結果のみでは学校選びはできない。クラブや生徒指導等、総合的な判断も必要だ。

②授業改善の取組みについて

校内でのスキルアップ研修など、授業改善の取組みについて教頭より説明があった。

【意見・提言】

- ・授業では、「導入」と「まとめ」にかける時間が重要で、適切に重要ポイントを説明する手法など、若手教員はベテラン教員からこのあたりを学んでほしい。
- ・厳しだけの授業も考えものだ。ジョークを交えて話をしたり、子どものニーズに合わせていくことも大切だ。
- ・与えられたプリントの穴埋めのみ集中し、全体の流れが疎かになっているケースもある。その結果、誤字脱字が増えたり、重要なポイントが頭に入っていないこともあるのではないかな。
- ・プリント授業とノートの取り方も関連する。プリント授業が増えた結果、ノートの取り方が分からない生徒も多いのではないかな。レポートの書き方、ノートの取り方も教えていく必要がある。